

本県の教育目標
○ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
○じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
○郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば市 学校教育指導方針
学びたくなる楽しい学園・学校
自己実現できる学校
みんなで支え合い、
みんなが生き生きした学校

学園目標 「ともに学び、心豊かに新時代をたくましく生きる社会力をもった子どもの育成」

学校教育目標 「自学・自律の心を育て、社会に貢献できる生徒の育成」

自学の心を育てる

社会貢献の心を育てる

自律の心を育てる

DO

学びの場の工夫
ひとりでも、誰かとも、みんなで学べる安心感

自己実現に向けたキャリア教育の推進

中長期目標

- 個別最適な学びと協働的な学びへの実現を目指した学習指導の展開を通して、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図り、それらを活用して自ら考え、判断し表現することで課題解決力を育む。
- 学年・学級経営を基盤として、基本的な生活習慣を身に付けさせ、明るく礼儀正しい高崎中生を育てる。

CHECK

時を守り、場を清め、礼を正す～具体的な場面での生徒指導～

安全・安心・信頼される学校

健康・安全・防災教育の充実

- 危険予測・危険回避能力の育成
- 安全で安心できる学校環境の整備
- 望ましい食習慣の形成と食の自己管理能力の育成
- 自ら進んで運動に取り組む資質の育成

【各種災害を想定した避難訓練を実施】

【体力テスト A+B 50%】

【熱中症対策の一つとして、昇降口前にスプリンクラーの設置】

避難訓練のあとの振り返りと共有

SOS の出し方に関する教育、学校生活相談員・SC・SSW との連携

信頼される学校づくり

- 学校情報の公開（HP、学年・学級通信）
- 学校評価の充実・改善
- 教員評価の充実推進
- 学校におけるコンプライアンスの確立
- ゲストティーチャー・地域人材の活用
- 保幼小中との連携

【HPの週3回以上の更新】

【運動部活動の工夫・改善、地域人材を活用したKTCの運営】

【保幼小中との交流活動の充実 合同引き渡し訓練等の実施】

アンケート結果を生徒・学校生活向上改善

組織目標

- 学校は生徒が主役 教師は授業で勝負
- 授業を通して、関わり合い、学び合う学習集団を育てる。
 - ・ 「関わる力」の質の向上を図り、「教え」から「学び」への転換を図る。
 - ・ 業務の効率化を図り、生徒に関わる時間を増やす。
 - 互いの良さを認め合い、高め合う集団をつくる。
 - ・ 安全で、安心して生活できる居場所づくり
 - ・ 一人一人が主役となって活躍できる場づくり

めざす教師像

- 人間性豊かな教師
- 信頼される教師
- 行動し実践する教師

働き方改革の推進（業務の効率化を図り、整頓関わる時間を増やす）

- スリレ、teams、LEBER、C4th 等を活用した情報共有・情報処理
- 地域と学校の連携・協力による文化・スポーツ活動の推進（KTC）

PLAN

ACTION

家庭
(幼・保)

1～4年生
基本的生活習慣の習得
基礎・基本の定着

5～7年生
社会性の育成
家庭学習の習慣化

8・9年生
自主的・実践的態度の育成
次世代型スキルの育成

社会へ
(高校)

関わり合い、学び合う授業(ペア・グループ学習の日常化)

問いから始まる学習課題の工夫

ねらいを明確にした対話・表現活動

確かな学力の育成

- 基礎的・基本的事項の確実な定着
- 学習への主体的な取り組み
- 協働的な学びの育成
- 学びの活用力の育成

「ICT」の日常的な活用(一人一台端末を文庫の一つとして)

【全国学力学習状況調査及び学力診断のためのテスト 自分の考えを表現する力を問う設問の正答率 県平均以上】
【授業中 自分の考えを自分なりの方法で表現することができる生徒の割合 75%以上】

丁寧な振り返りの工夫

心の教育の充実

- いじめのない仲間づくり
- 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成
- 自己有用感の醸成
- 20年後に生きる能力の育成(キャリア教育の視点)

自分たちで考え工夫した係活動

【「心の教室」「Sルーム」を利用した居場所づくりの充実】
【「報告・連絡・相談・確認・記録」の徹底】

発達段階に応じたつくばスタイル科の充実